

東海・東海第二発電所 原子力館（PR館）  
電源盤内からの発煙事象の確認について  
（関係自治体への安全協定等に基づく発生報告書の提出）

1月16日、東海<sup>※1</sup>・東海第二発電所<sup>※2</sup>原子力館（PR館）において、原子力館空調機4台のうち1台（AC-4）が停止したことから、当該空調機の電源盤を開けて確認したところ、電源盤内からの発煙（炎なし）を確認したため、公設消防に通報しました。

その後、本事象について公設消防が現場を確認した結果、10時40分に火災と判断されました。

なお、本事象による放射性物質の漏えいはなく、環境への影響はありません。また、人の汚染や被ばくはありませんでした。

※1：廃止措置中。

※2：沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット。第25回定期事業者検査中。

（2026年1月16日お知らせ済）

当社は本日、本事象について、安全協定等に基づく事故・故障等発生報告書を関係自治体に提出しました。

現在、本事象の発生原因について調査を継続しており、具体的な原因対策及び再発防止対策については、取り纏め次第お知らせします。

地域の皆さまに多大なご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

以上

◆参考資料

東海発電所・東海第二発電所 原子力館電源盤内  
における発煙の確認について